

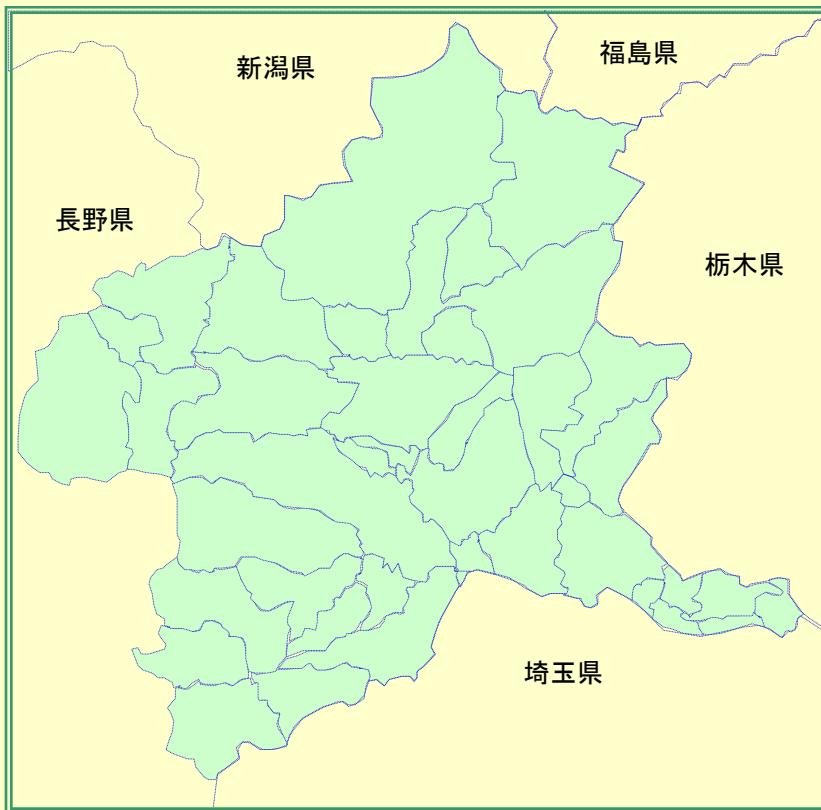
畜産コントラクター育成の取組について



群馬県農政部畜産課

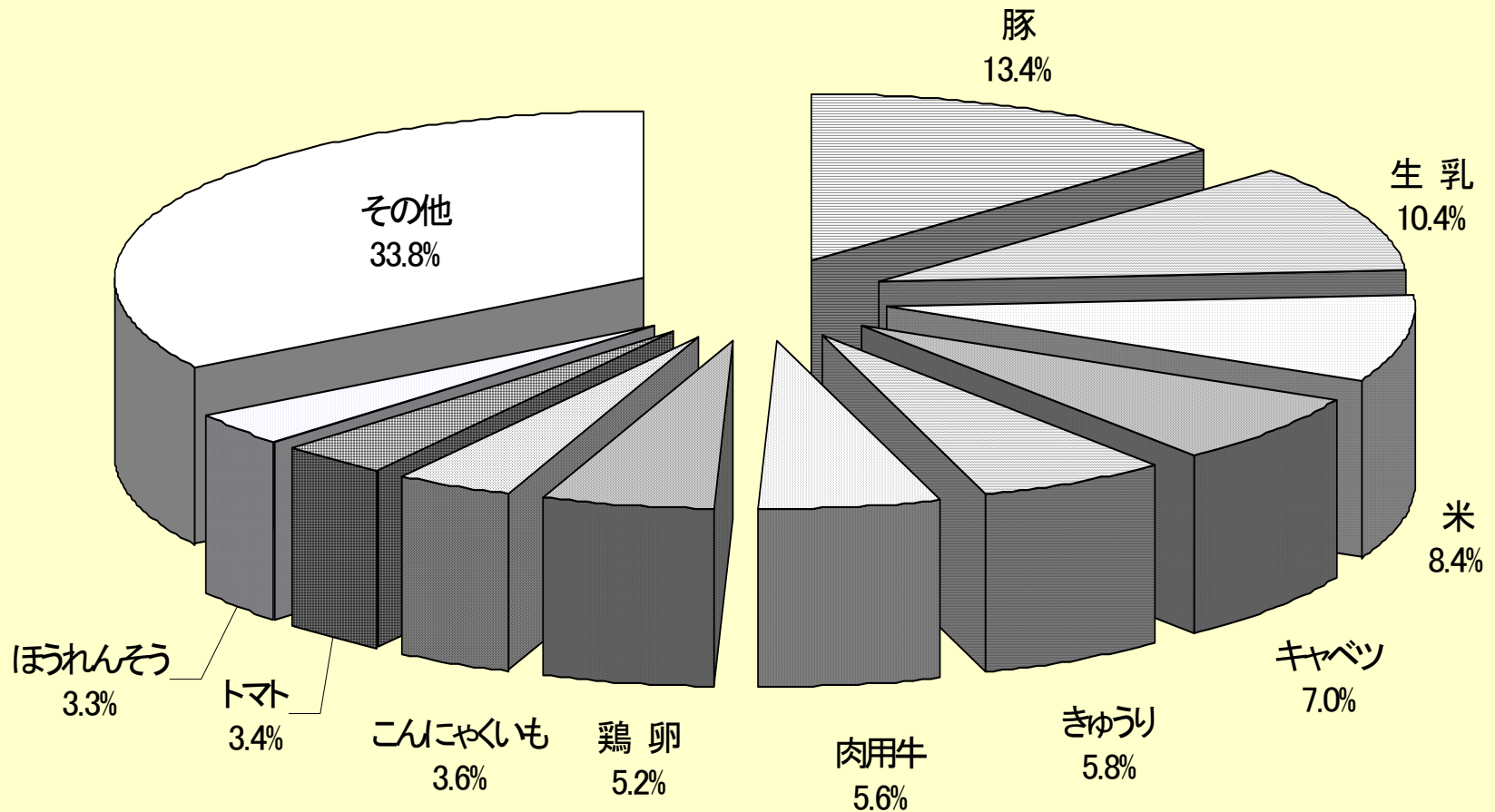
群馬県の主要指標

群馬県(12市・16町・10村)



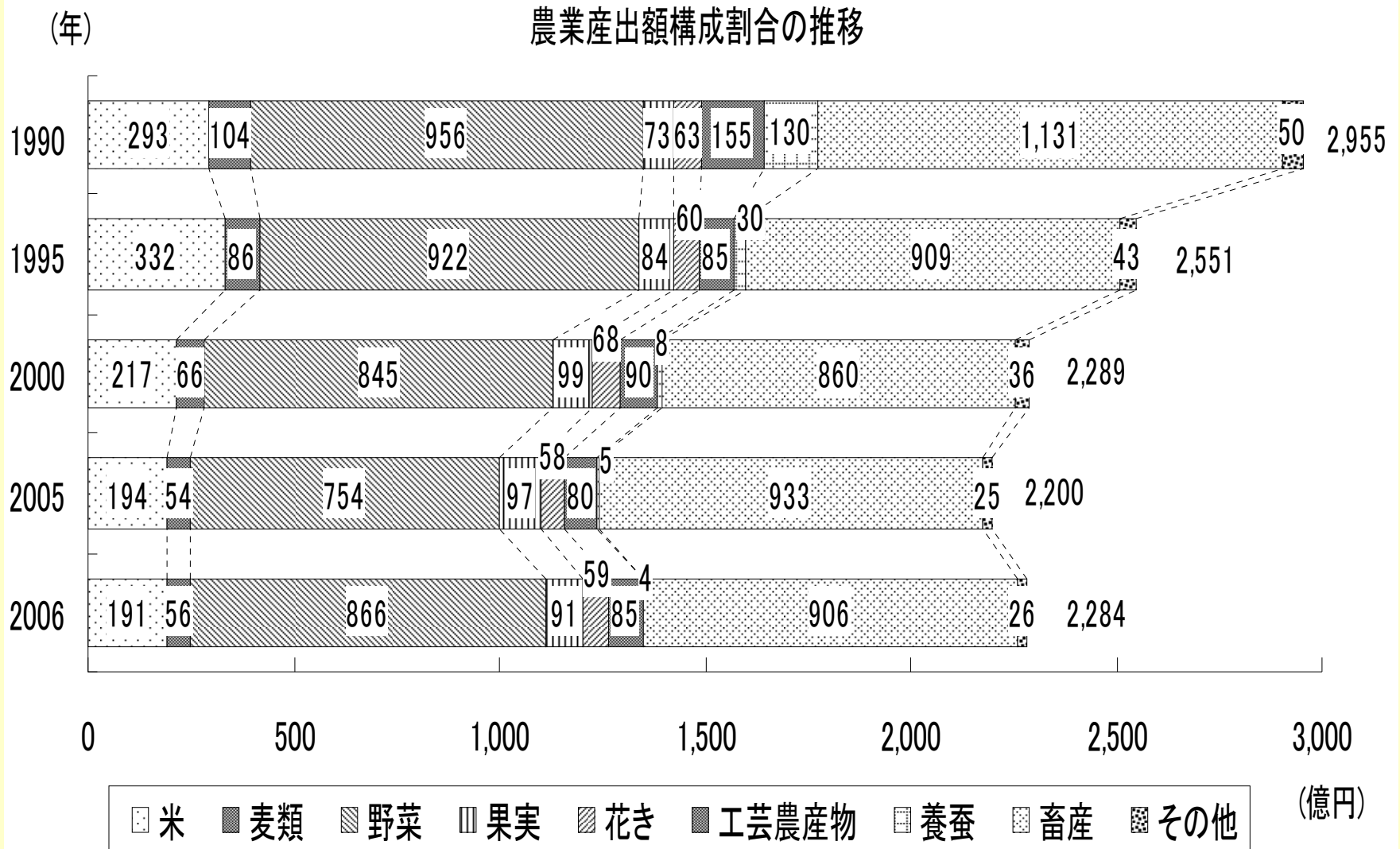
項目	単位	群馬県	全国	順位	年
面積	km ²	6,363	377,923	21	H18
可住地面積	km ²	2,295	121,384	20	H17
日照時間	時間	2,177		6	H17
降水量	mm	1,144		32	H17
世帯数	千世帯	745	51,713	19	H19
人口	千人	2,021	127,770	19	H18
総農家戸数	戸	62,527	2,848,166	20	H17
農業就業人口(販売農家)	人	71,696	3,352,590	21	H17
耕地面積	ha	77,900	4,671,000	18	H18
田面積	ha	29,200	2,543,000	32	H18
畑面積	ha	48,700	2,128,000	9	H18
農業産出額	億円	2,200	88,067	16	H17
野菜	億円	754	20,214	7	H17
畜産	億円	938	27,023	7	H17
米	億円	194	20,234	34	H17

群馬県個別農産物構成比 (2006年農業産出額)

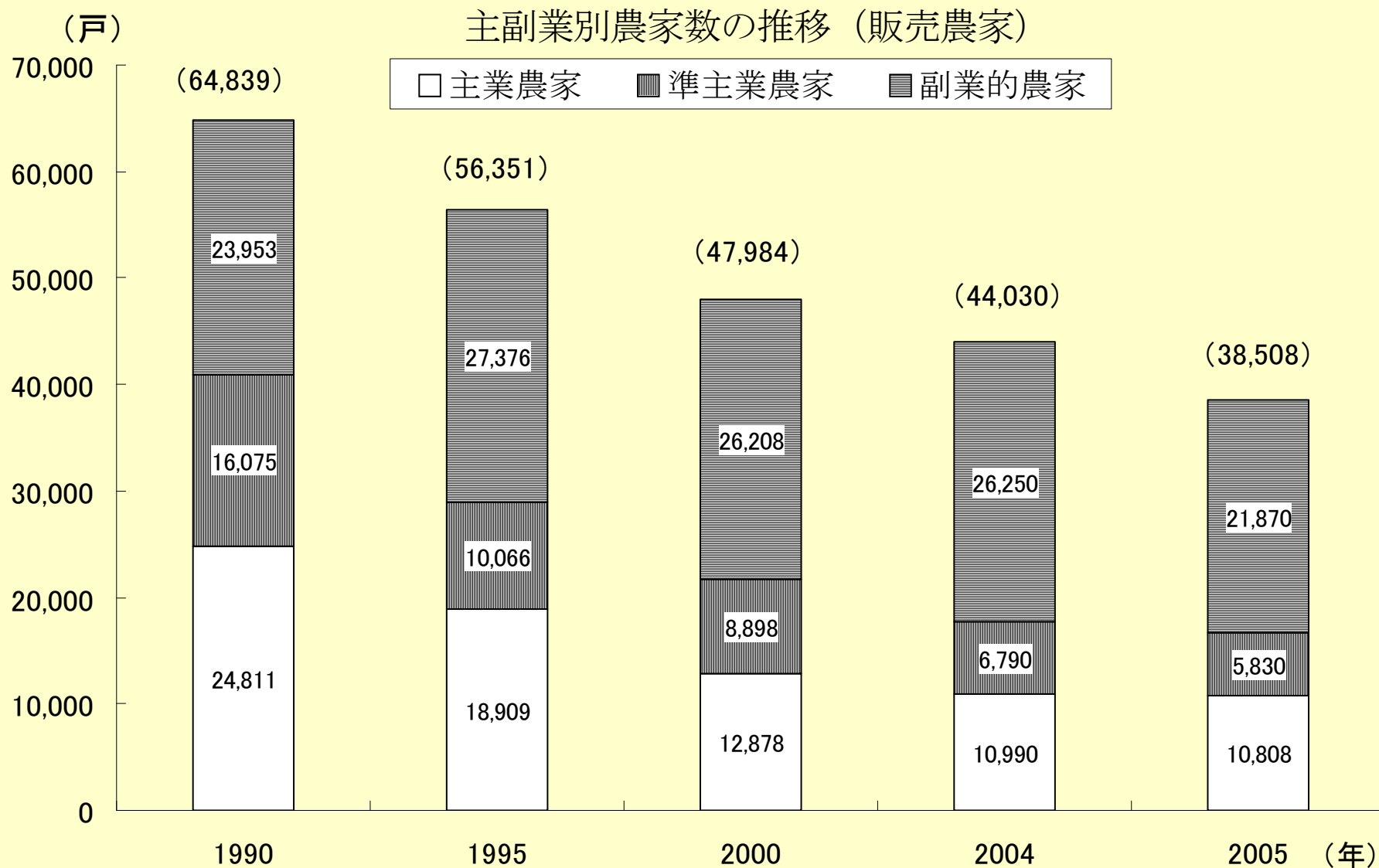


資料：農業局

群馬県農業生産の動向

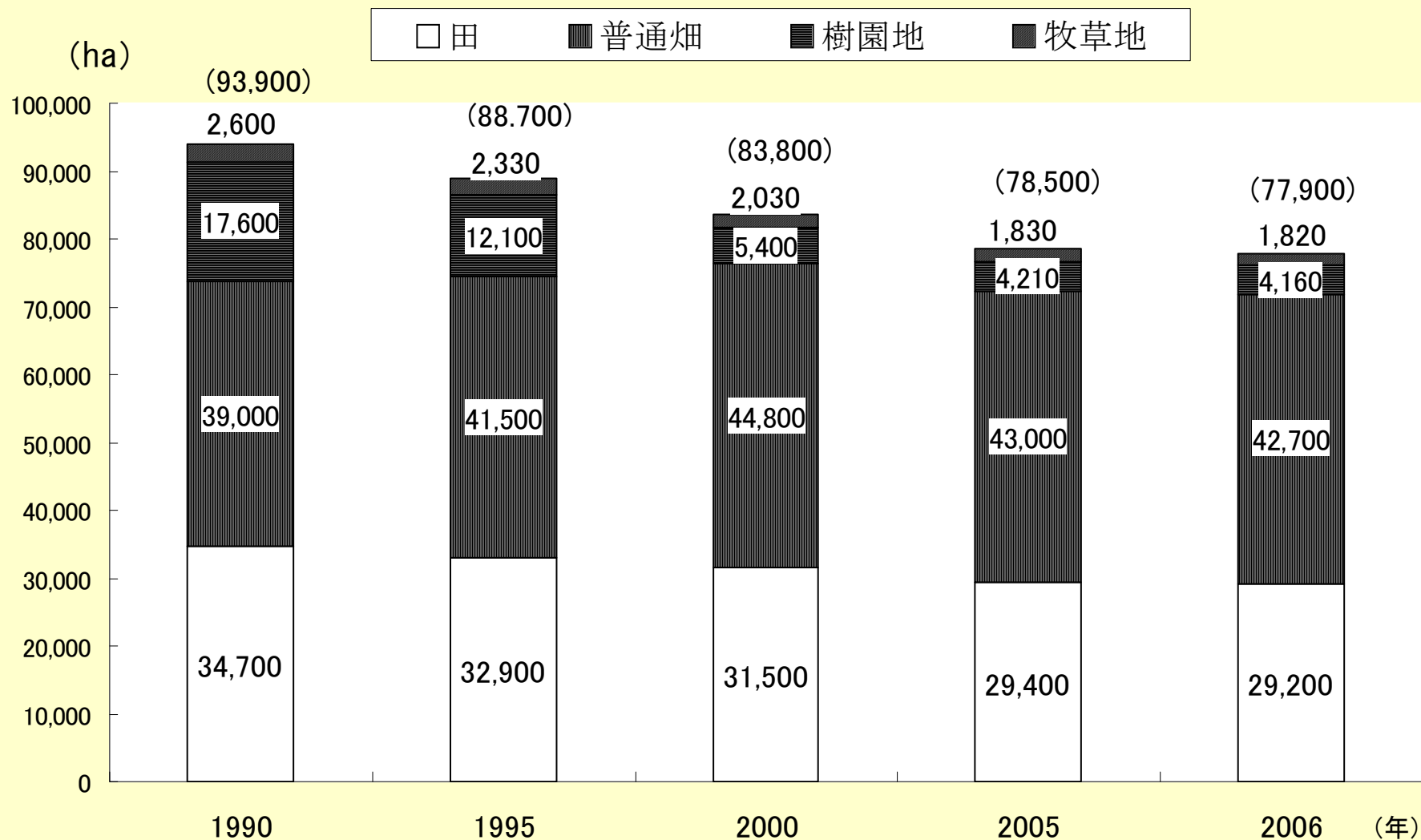


群馬県農業構造の動向（担い手）



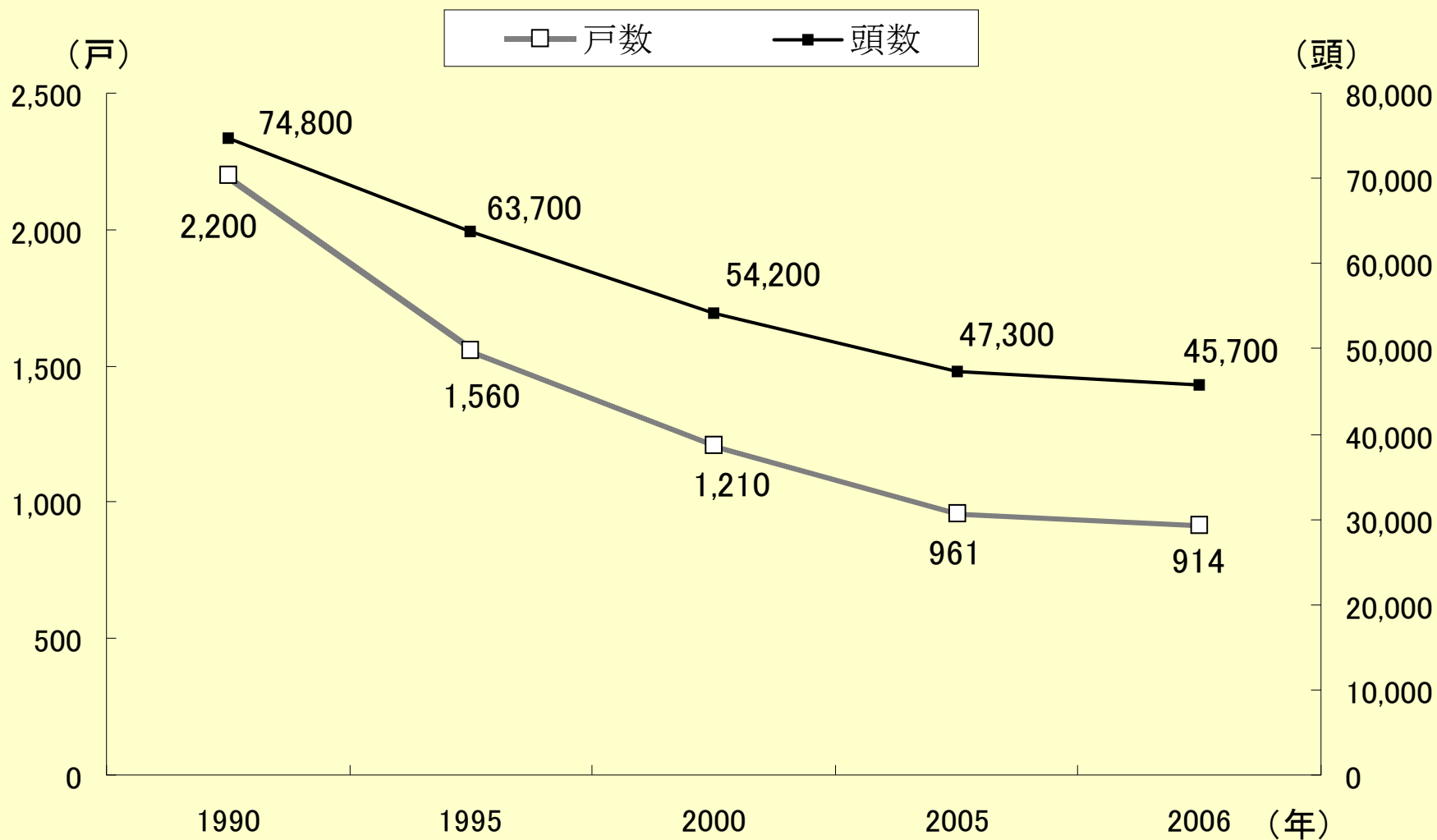
群馬県農業構造の動向（耕地）

耕地種類別面積の推移



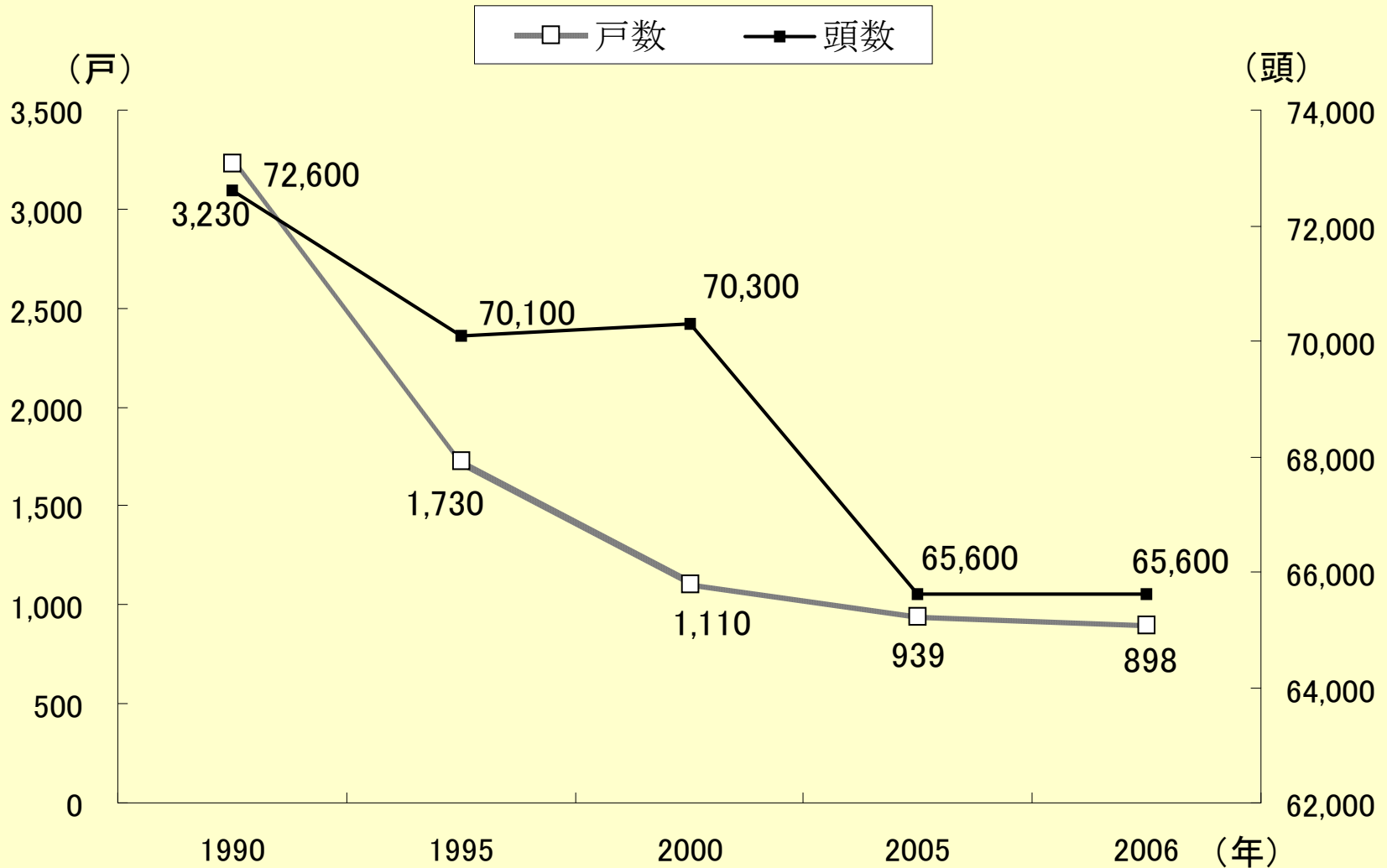
群馬県乳用牛（酪農）生産状況

乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

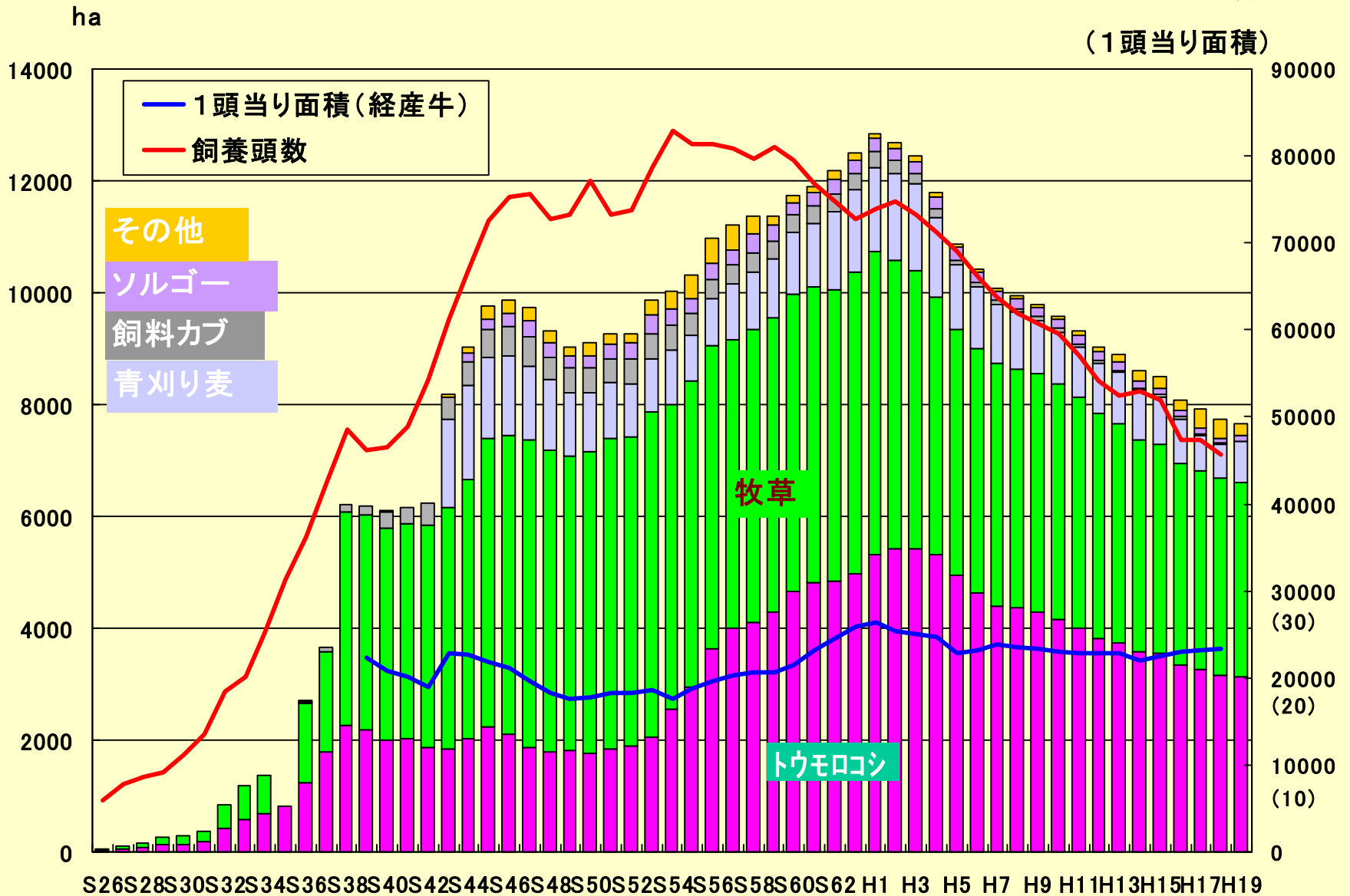


群馬県肉用牛生産状況

肉用牛の飼養戸数・頭数の推移



頭



群馬県自給飼料増産方針

1 土地利用型（資源循環型）畜産への転換

（生産者自身による自給飼料増産・給与）

ハードル1：生産者自身の自覚・認識

（酪農家の合理的判断：輸入飼料に依存して出荷乳量を増やした）

ハードル2：自給飼料生産基盤の確保

①機械力・労働力 ②農地 ③製品品質・コスト

ハードル3：支援組織の強化

①作業支援 ②土地支援 ③収穫調製・給与支援

2 粗飼料生産における耕畜連携の推進・発展

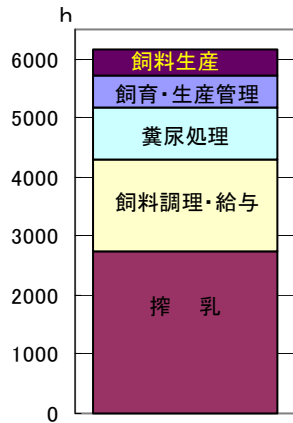
＊ 飼料用イネ：市町村水田協議会との連携

＊ 飼料用麦：水田の高度利用（未利用水田裏の活用）

＊ 輪作の推進：ソルゴーのコンニャク根腐病への効果試験

飼料自給率の向上・堆肥の利用促進

40頭規模農家の年間労働時間は6,000時間以上



なぜ困難なのか！

①労働時間構造

現状では飼料作物生産への時間がさけない

②購入粗飼料で経営可能

しかし、家畜排せつ物処理において破綻

③作業機械がない（新たな投資困難）

④土地がない（土地集積困難）

今さら、土地基盤に基づく酪農は困難？

誰が飼料作物をつくるのか？

①自給飼料農家・・・これ以上の作付けは困難？

〔 ②中間層農家
③購入飼料依存農家 〕

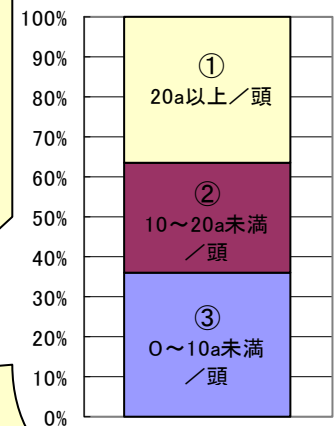
②③農家を飼料作物生産へ

○コントラクターによる
飼料作物生産、堆肥の運搬・散布

◎ 飼料面積 1千ha拡大
本県食料自給率0.6%向上
◎ 堆肥の流通促進

酪農家別

1頭当たり作付面積



群馬県農業公社による畜産コントラクターへの取組

経緯

- 飼料用イネの作付拡大に伴う収穫・調製作業要望
- 国産粗飼料の広域流通の実施要望
- 畜産公共事業等の受託業務の実績

検討

業務検討プロジェクトの設置(H13)

- 作業受託内容(範囲)の検討
- 導入作業機械設備の検討
- 畜産農家による稲WCSの給与実証

取組

畜産コントラクターとしての活動

- 飼料用イネの収穫・調製作業の受託(H14～)
- 青刈りとうもろこし等の収穫・調製作業の受託(H17～)
- 県コントラクター支援事業(ソフト・ハード)の実施

県域畜産コントラクターイメージ

農地保有合理化事業の活用

未利用農地等の土地資源

借入、売買

貸し付け(売買)

畜産農家 A
畜産農家 B
畜産農家 C
：

作業委託

群馬県農業公社

必要に応じて...

県補助事業等の活用

- ・暗渠排水、勾配修正等の簡易な基盤整備
- ・堆肥散布、耕起、碎土整地

県職員による指導

作業用機械の追加導入
(国・県の補助)

粗飼料の供給

ロールバールサイレージ

協働作業

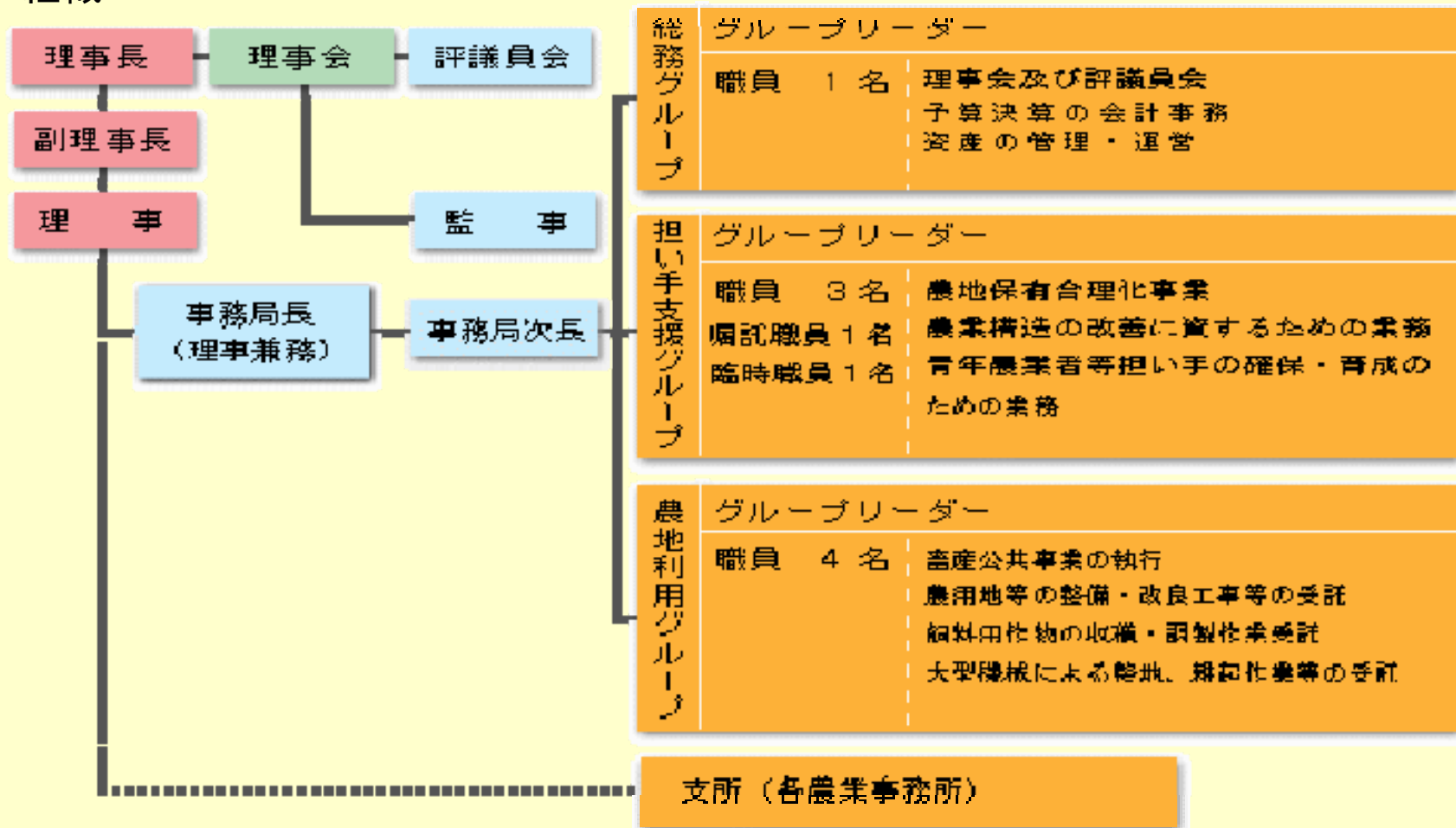
建設業者等を中心とした集団

飼料作物の作付けに関する...

- ・堆肥運搬／散布
- ・播種／管理
- ・収穫／調製
- ・運搬など

(財)群馬県農業公社の概要

- 設立 昭和45年10月1日
- 基本財産及び基金 927, 121千円（平成19年度）
- 組織



群馬県農業公社が取り組んでいる畜産関係事業

- 畜産公共事業
- 飼料用作物収穫・調製作業受託
 - ①飼料用イネ
 - ②混播麦（エン麦・大麦・イタリアン等）
 - ③ソルゴー／スーダングラス
 - ④デントコーン
- 未利用農地での粗飼料試験栽培
- 草地造成、更新作業受託

群馬県農業公社機械保有状況

- 土木工事用機械類

- ・ブルドーザ(20t級 2台、13t級 1台)
- ・簡易暗渠排水(ドレンレイヤー)施工機械
農地造成用作業機
- ・バックホー 3台

- 農業用機械類

- ・トラクタ(100ps級～40ps級 5台)
- ・作業機械類(耕起、土壌改良、播種等) 一式
- ・細断型ロールベアラー、コーンハーベスター(デントコーン収穫)
- ・フレール式コンビネーションベアラー 3台(飼料イネ収穫)
- ・自走式ベールラッパー 4台 ほか

飼料用作物収穫・調製作業受託

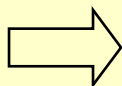
「良質なロールバールサイレージである」と好評です。



収 穫



飼料イネ



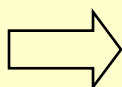
ソル
ゴー



調 製



デントコーン

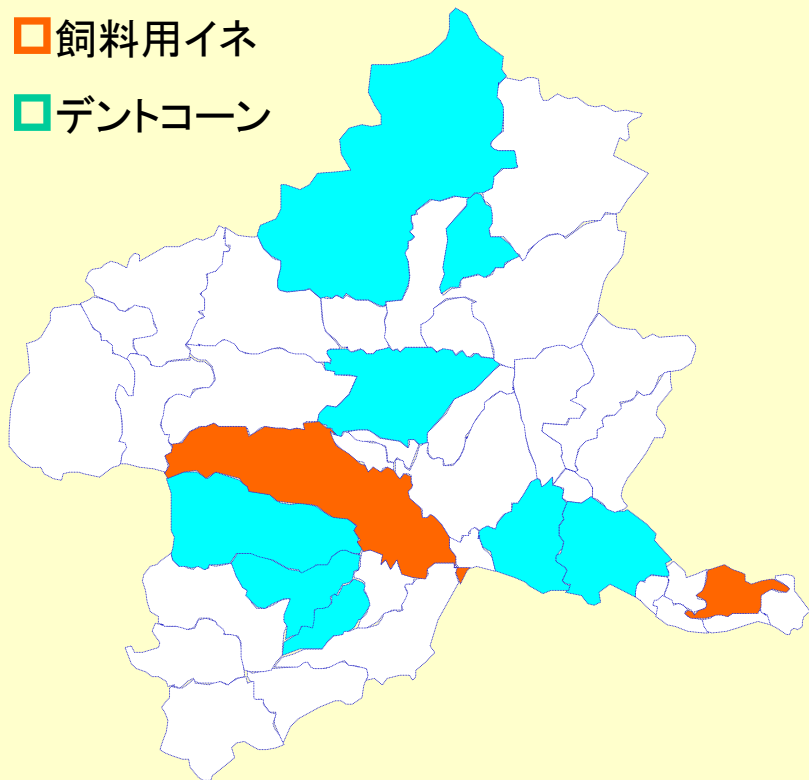


搬 送

主な収穫作業地域

飼料用イネ

デントコーン



収穫調整作業面積

作物	H18面積(m ²)	H19面積見込み(m ²)
デントコーン	215,300	315,000
ソルゴ	80,600	125,500
麦	—	59,000
エン麦	31,900	14,000
イタリアン	—	35,500
イネ	530,507	626,400
合計	858,307	1,175,400

収穫作業体系と料金

農地利用グループ＋他グループ

収穫・調製作業班

- ・収穫機
- ・自走式ラッパ
- ・補助作業員（状況に応じて）

輸送班

- ・畜産農家への搬送
- ・（広域流通用製品の集積）
- ・（利用者からの情報収集）

収穫・調製作業基本料金

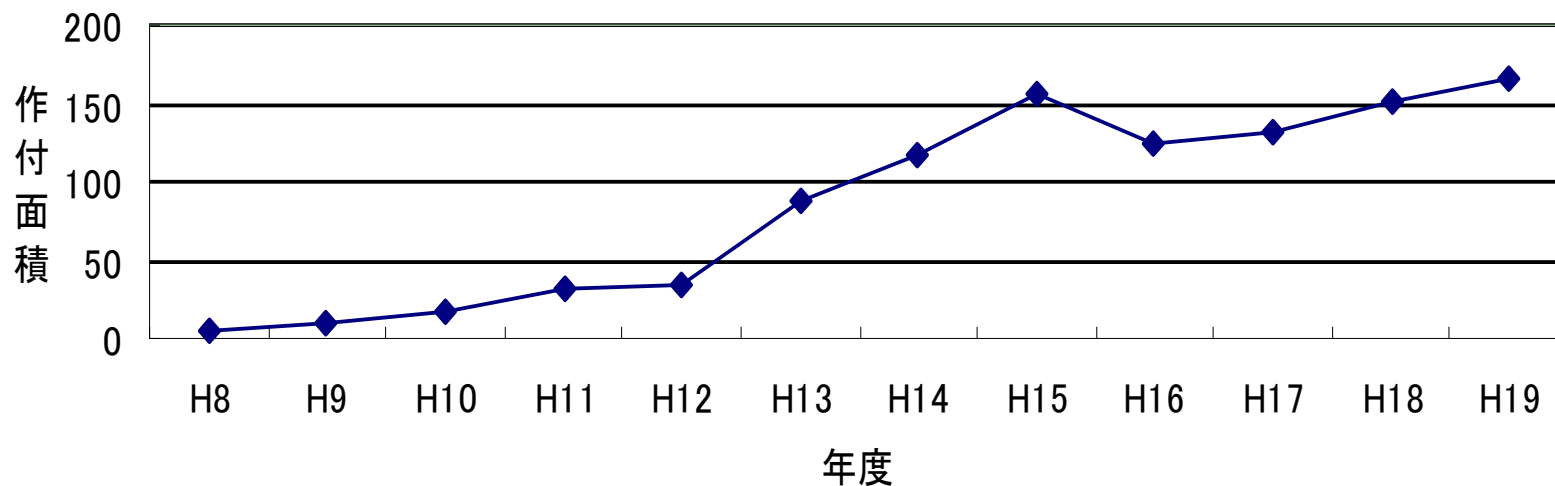
麦、ソルゴー等・・・25,000円／10a

デントコーン・・・27,000円／10a

群馬県内の飼料用イネ作付状況

- ・平成8年度から飼料用イネ作付けへの取り組みが開始
- ・平成12年度から実施された「水田農業経営確立対策」により、作付面積急増
- ・作付助成体系変更に伴う一時的な作付け減がみられたものの、増加傾向

図一1 群馬県内の飼料稲作付面積推移



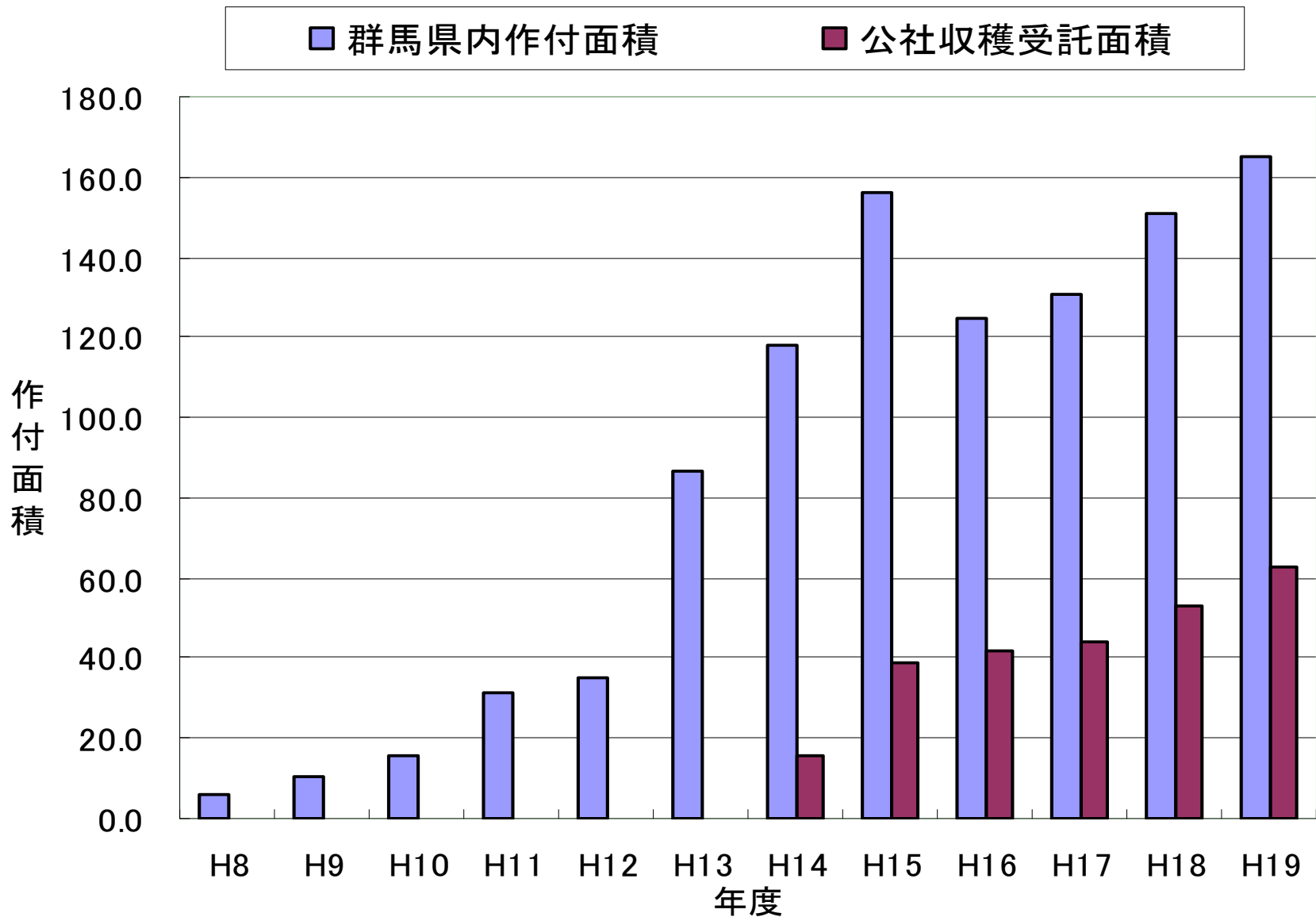
飼料用イネの収穫作業状況

表―1 群馬県全体の飼料用イネ作付面積と公社作業受託面積 単位：ha、戸

年度	作付面積(A)	公社受託面積(B)	割合(A/B)	給与農家数	備 考
H14	118.0	14.6	12.4%		
H15	156.0	39.2	25.1%	25	
H16	124.5	41.7	33.5%	28	
H17	131.2	43.9	33.5%	28	
H18	150.9	53.1	35.1%	32	
H19	165.0	62.6	37.9%	48	

資料：群馬県畜産課、農業公社集計

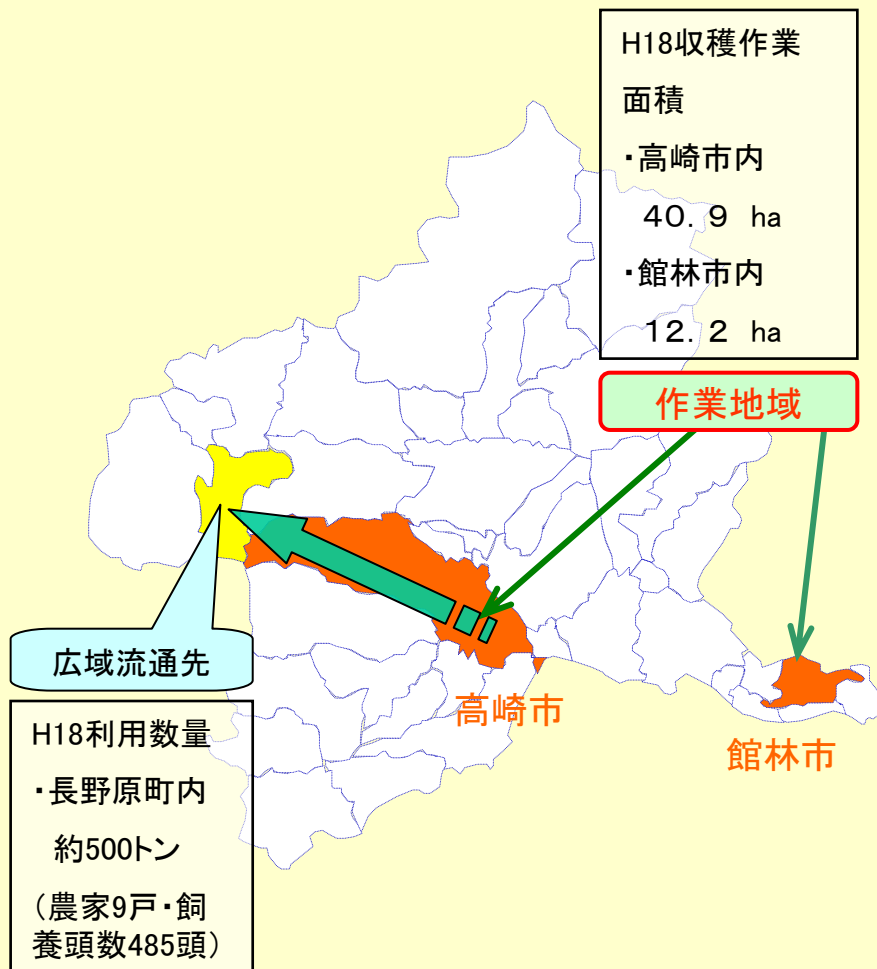
群馬県内飼料稲作付面積と公社作業面積の推移



品質確保に向けた取り組み

- 地理的条件を利用しての地域別適期収穫の実現
- 耕種農家との打ち合わせによる団地別の収穫時期調整（作付け品種の選定）
- 「満足度調査」による畜産農家と飼育牛による製品の評価把握
- 生産地、収穫日等の情報貼付による「生産履歴」の明示

飼料用イネの広域流通の取組



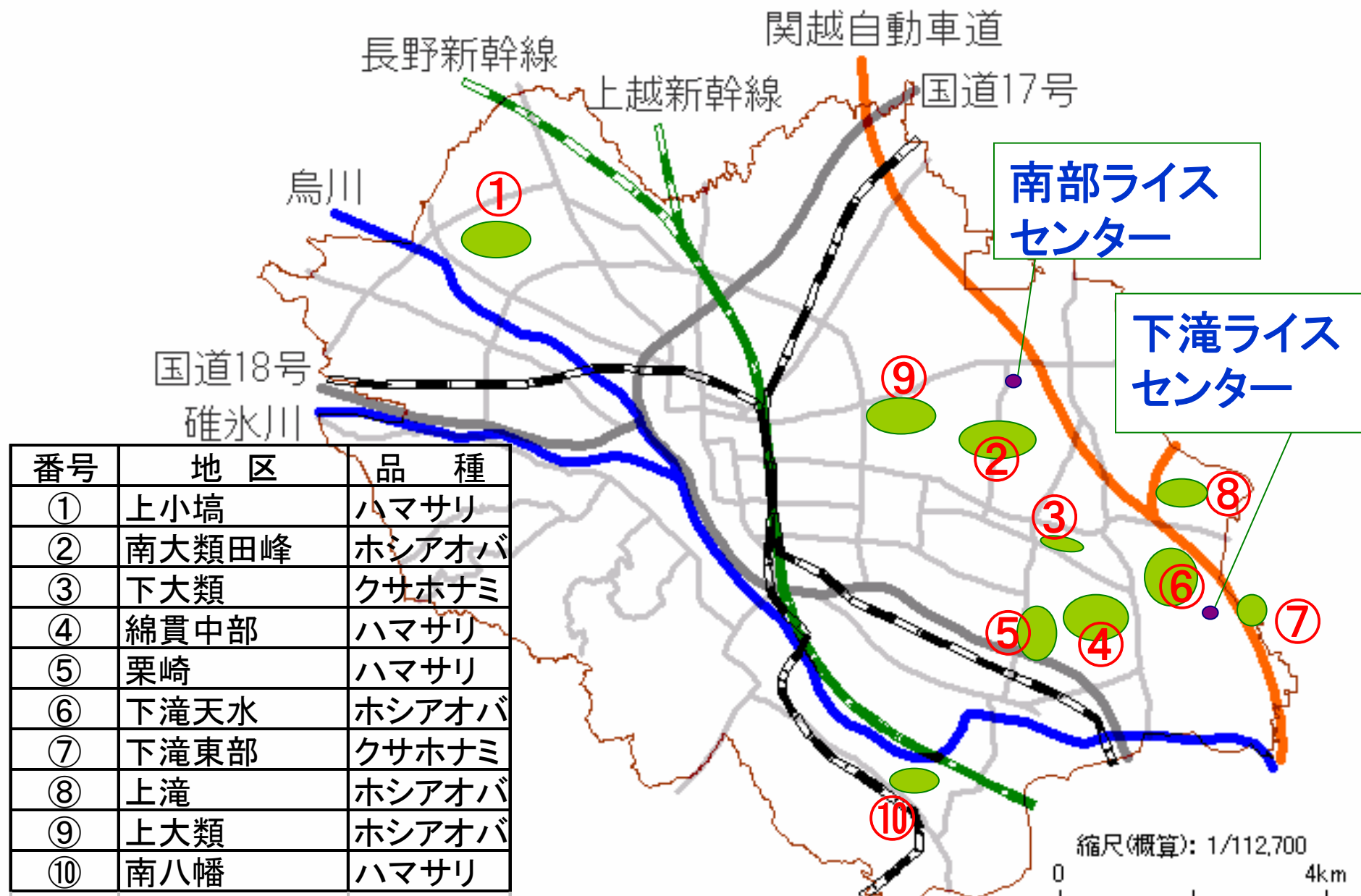
表一 2 年度別作業受託面積

資料：群馬県農業公社

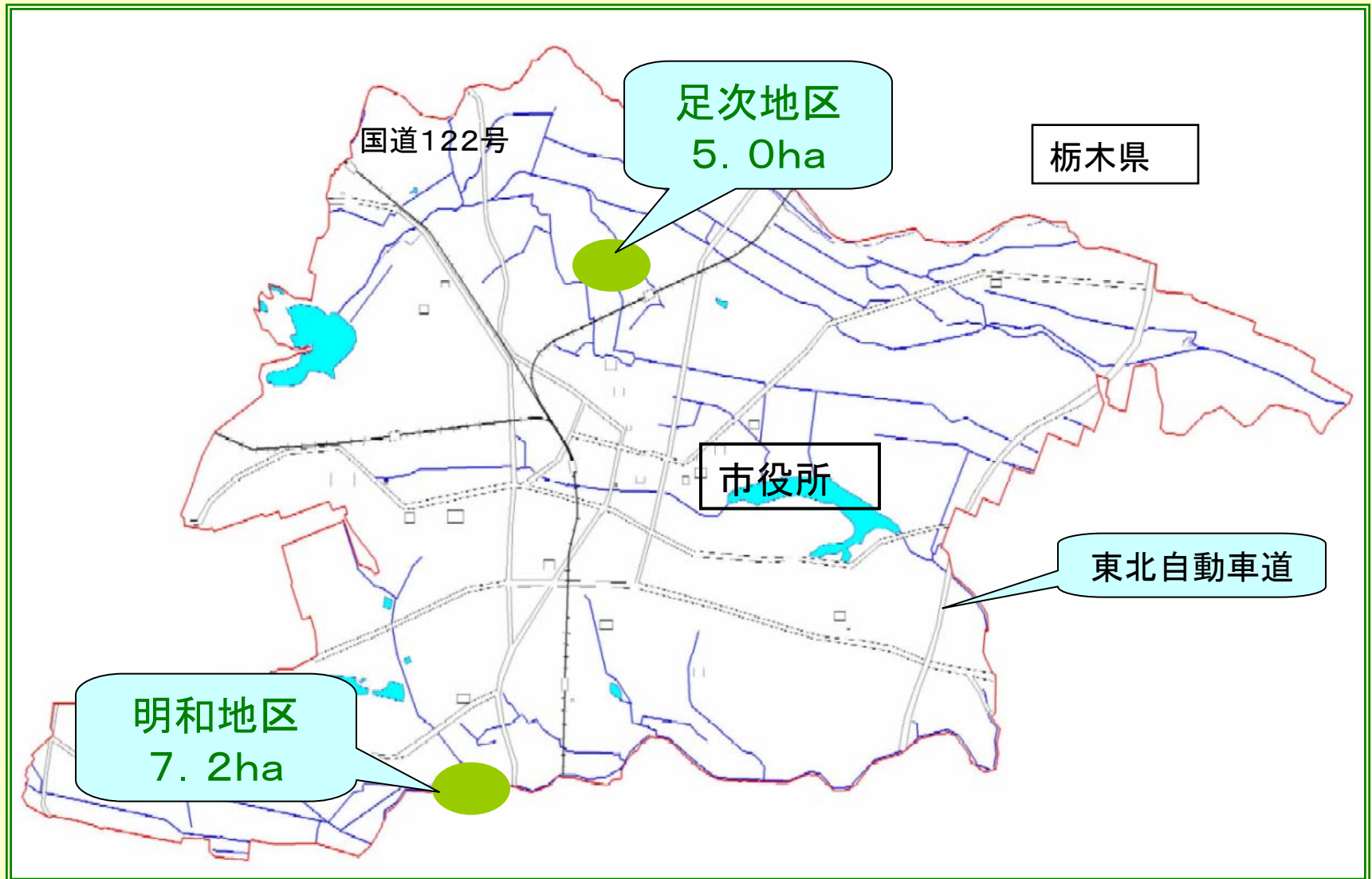
年度	地域	作付面積 (ha)	公社受託面積(ha)	団地数	平均収量 (個/10a)	利用者
14	高崎市	27.9	7.6	3.0	17.2	高崎市農協酪農部会
	板倉町	7.0	7.0	1.0	13.0	館林市内、利根郡内
	小計	34.9	14.6	4.0		
15	高崎市		12.4	3.0	15.1	高崎市農協酪農部会
			9.0	6.0	14.7	あがつま農協飼料稲組合
	太田市		3.9	1.0	13.6	新田郡内の畜産農家
	館林市		13.9	2.0	14.9	館林市WCS利用組合
	小計		39.2	12.0		
16	高崎市		10.7	3.0	15.8	高崎市農協酪農部会
			15.0	5.0	15.8	あがつま農協飼料稲組合
	館林市	11.8	11.8	2.0	14.0	館林市WCS利用組合
	北橋村	4.2	4.2	1.0	10.0	硯石トラクタ組合
	小計	58.5	41.7	11.0		
17	高崎市		14.4	5.0	15.8	高崎市農協酪農部会
			17.0	5.0	15.8	あがつま農協飼料稲組合
	前橋市	22.5	0.9	1.0	15.0	
	館林市	11.6	11.6	2.0	14.0	館林市WCS利用組合
	小計	87.4	43.9	13.0		
18	高崎市	63.0	40.9	9.0	12.3	高崎市農協酪農部会、あがつま農協飼料稲組合ほか3組合
	館林市	12.2	12.2	2.0	12.0	館林市WCS利用組合
	小計	75.2	53.1	11.0		

注1)収量は、収穫したロール数 (約180k g / ロール)

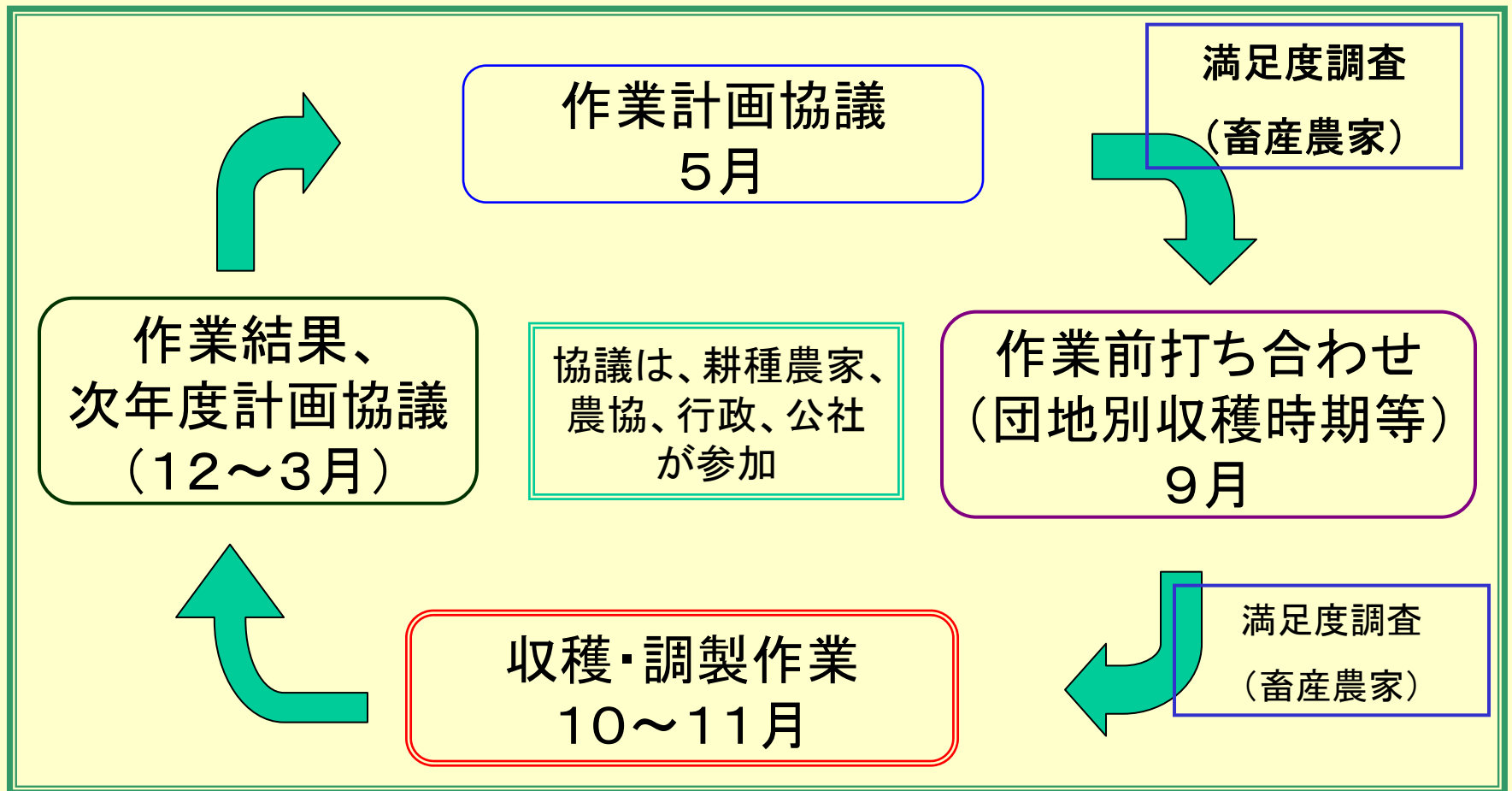
作業場所位置図(旧高崎市)



作業場所位置図(館林市)



耕種農家、農協との協議・調整



耕種農家からの意見



- 複数の作業機械利用による水田の「乱れ」
(特に、ロール搬出時)
- 土が硬くなり、小馬力トラクターでの耕起が困難。
- こぼれた子実が、鳥類を呼び寄せる。

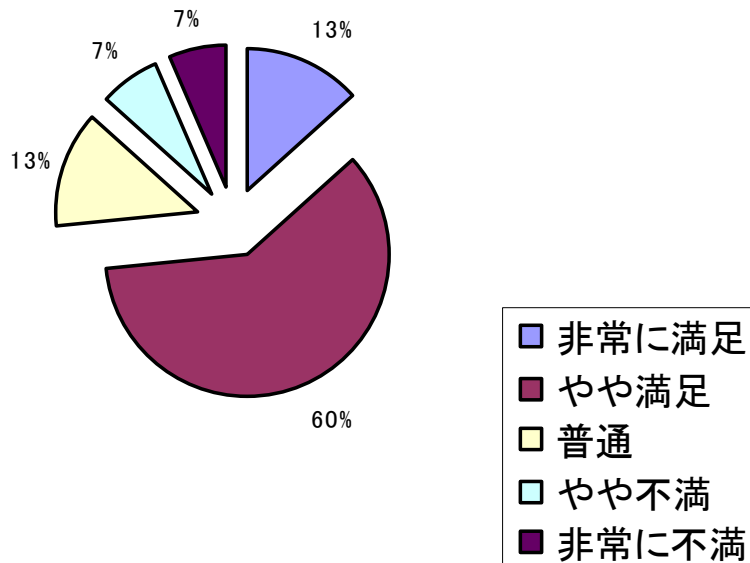
耕種農家に嫌われないための対策



- 「急」のつく操作をしない。
(ベールラッパー)
- ラッピング作業位置は、農家と協議して決定。
- ロールグラブ付きトラクタを水田に入れない。
(バックホーによる搬出)

畜産農家への満足度調査

サイレージの出来映え



- 製品としての評価は「良好」。
- 飼養牛の約60%が「満足」している模様。
- 乳用牛よりも繁殖和牛の嗜好性が高い。
- イネロールへの情報貼付により、団地別の品質評価が厳しい。

イネロール生産情報の提供



H17年10月13日

下大類地区

番地 ロットNo.

栗師888-1 29

面積5,299㎡

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

620番まで
1/30全NZ 619番まで記入
617~620まで 29コ

- 団地、ほ場番号、面積、ロール数等の明示。
- 問い合わせに対応するための「情報提供」
- 制作費：約4円／枚
- 耐水合成紙を利用
- 両面コピーし、台紙に収量、結果などを記入。

活動の定着化に向けて(今後の課題)



専用機を利用した飼料作物
の収穫・調製

- コストダウン要求への対応
- 専用作業機の更新
- 飼料用イネ作付けの見通し？
- 利用側も供給側も拡大を希望・・・収穫作業能力が不足。

コントラクター機能強化にむけて

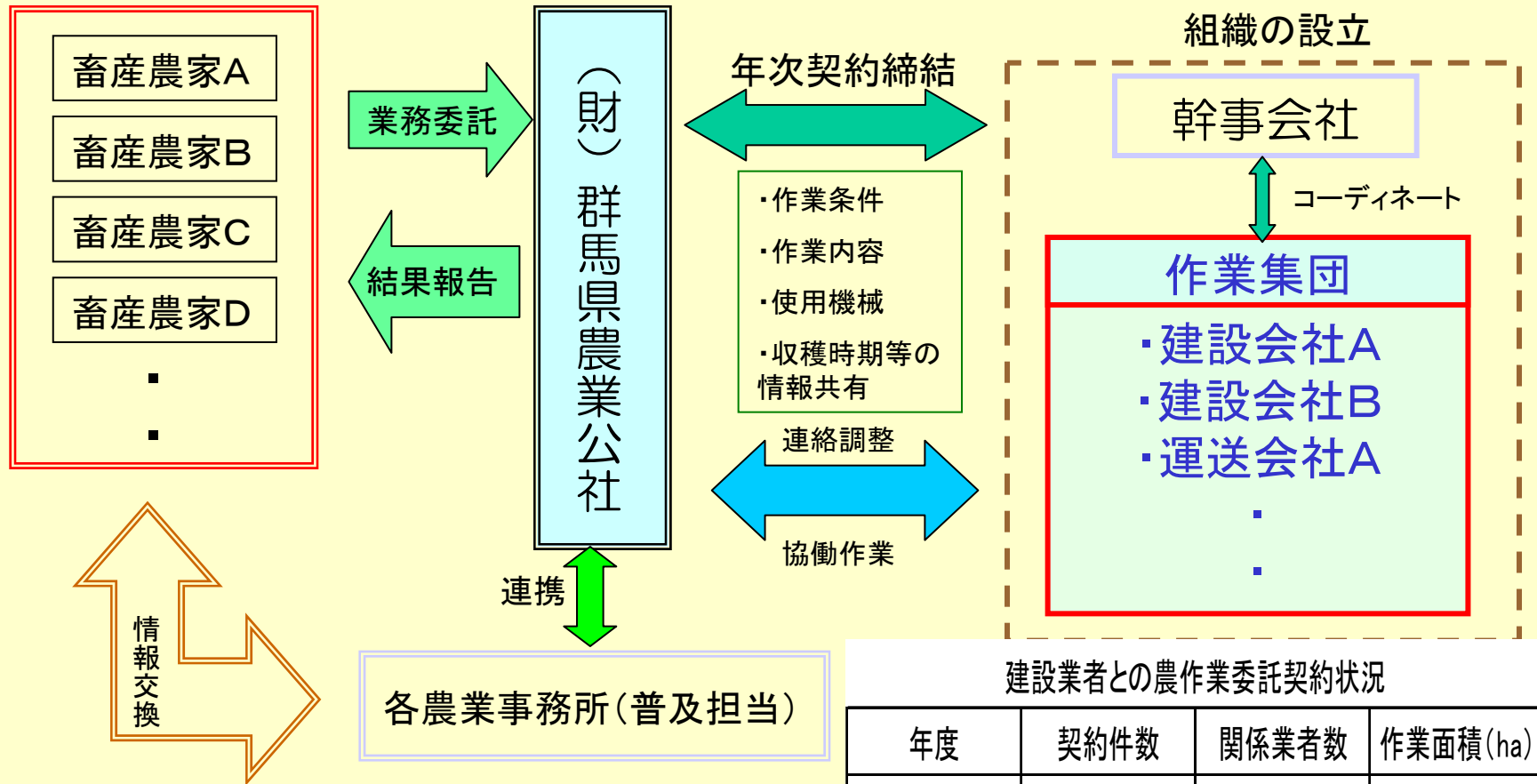
目 標

- 新たな粗飼料生産に係わる作業請負組織（コントラクター）を育成する。
- 市町村農業員会と連携し、農地保有合理化促進事業により「未利用農地」を借り上げ、粗飼料生産に活用する。
- 水田の有効利用につながる粗飼料生産（飼料イネ、稲ワラ収集等）について、耕種農家（営農組織）と協働して取り組む。

課 題

- コントラクター希望者への技術移転
- 農地利用に係わる権利関係の調整
- 作業用機械の追加導入（更新）に係わる経費負担
- 生乳の消費量減、畜産農家数の推移
- 公社の存続・・・

群馬県畜産コントラクター連絡会(案)



建設業者との農作業委託契約状況

年度	契約件数	関係業者数	作業面積(ha)
H18	2	11	19.7
H19	2	11	37.6

資料: 農業公社集計

まとめ

- 行政とコントラクター実行組織（公社等）が一体となつての畜産農家支援
- 耕作放棄地等の活用につながる飼料作物の生産拡大（農地の集積を含む）
- 県内産粗飼料自給率の向上
- 飼料イネをモデルとした品質確保策の展開

